

令和6年度 駒ヶ根ふるさと講座

東伊那区誌『峯高く』編集・刊行委員会

講師

建築家
香川 浩 先生

東京大学名誉教授、江戸東京博物館館長
藤森 照信 先生

東京大学名誉教授、江戸東京博物館館長



102年前伊藤文四郎が設計した赤穂村役場（現在の駒ヶ根市郷土館）



東伊那で生まれてアメリカで建築学を学び
日本に西洋建築を広めた建築士

入場
無料

「伊藤文四郎」記念講演会

日時

令和6年 11月23日(土)

午前9:30~午前11:00

会場

駒ヶ根市赤穂公民館ホール

(駒ヶ根市上穂栄町23-3)



申し込みは裏面をご覧ください



東京大学名誉教授、江戸東京博物館館長

【講師】藤森 照信 先生

略歴

- 1946年 長野県茅野市生まれ
建築家・建築史家
- 東北大学建築学科卒、東京大学大学院修了、
東京大学教授・工学院大学教授を歴任
- 代表作: 神長官守矢資料館、高過庵 等多数
- 第31回信毎賞受賞(2024年)
『長野県史美術建築資料編』にて
「旧赤穂村役場庁舎
(駒ヶ根市郷土館)」について執筆

建築家

【講師】香川 浩 先生

略歴

- 東京生まれ
- 工学院大学建築学科卒業、
芝浦工業大学大学院修了
- スタジオ香川主宰、
DOCOMOMO国際会員、
工学院大学非常勤講師
工学院大学建築系同窓会副会長

【主催】駒ヶ根市公民館協議会 【共催】東伊那区誌『峯高く』編集・刊行委員会 【協力】「東伊那150周年プロジェクト」

【後援】工学院大学建築系同窓会・日本大学桜門建築会・DOCOMOMO Japan



問い合わせ先 駒ヶ根市公民館協議会(東伊那公民館) TEL.0265-82-4664

伊藤文四郎が関わった建築物

伊藤文四郎(1882~1966)は、大正時代から昭和初期にかけて日本の本格的な西洋建築の設計に関わった東伊那出身の建築家です。代表的な建築物として、日本郵船株式会社本社、帝国ホテル、東京帝国大学図書館、立教大学など数々の近代西洋建築が挙げられます。とくに帝国ホテル設計時に撮られた**フランク・ロイド・ライト**との写真は、伊藤文四郎が帝国ホテル建設に何らかの役割を果たしたことを示すものと考えられ、日本の近代建築史を再考する手がかりを与えてくれます。ライトの手がけた8件の建築物が世界遺産に登録され、日本に現存する建築は4つ、北米以外で残るのは日本のみです。浮世絵の愛好家としても知られ、日本とも縁の深い人物です。



フランク・ロイド・ライトと共に(右端が伊藤文四郎氏)帝国ホテル設計事務所で撮られた写真。写真にサインまで入れて送ったことからライトの信頼も厚かったと思われる。



旧日本郵船本社ビルディング(日本郵船歴史博物館所蔵)



帝国ホテル・ライト館中央玄関(博物館明治村)



高遠閣(国登録有形文化財)

講演会申し込み・お問い合わせ

市内在住の方 10月21日(月)~31日(木)

申し込み方法 電話にて東伊那公民館(☎82-4664)

一般申込み 11月1日(金)~定員に達するまで

申し込み方法 QRコードを使ってお申し込み下さい



予約フォーム

伊藤文四郎の波乱に富んだ生涯とその業績を振り返る

入場
無料

同時開催「伊藤文四郎」回顧展

会期 令和6年11月23日(土)~
29日(金)正午まで
時間:午前8時30分~午後5時15分

会場 駒ヶ根市東伊那公民館

[主催] 東伊那区誌『峯高く』編集・刊行委員会

問い合わせ先 駒ヶ根市東伊那公民館 TEL.0265-82-4664

長野県駒ヶ根市東伊那栗林2398-20

